【大会日程、表彰】

（型試合出場選手 9 時 15 分集合　組手試合選手集合 11 時 30 分）18 時 30 分終了予定（閉会式なし）

9 時　　**開場**　受付、午前開会式なし（選手権、シニアマスターズは前日、または当日計量（重量級、無差別以外）

9 時 15 分　　**型 各コート第 1 試合出場選手出場コート集合（予選順番抽選後、試合開始）**

9 時 40 分　　**型 各コート第 2 試合出場選手出場コート集合（予選順番抽選後、試合開始）以降順次ご案内**

12 時　　**型試合終了予定**

12 時 20 分　　**開会式**（組手選手は出場コートに、午前型試合 3 位以上入賞選手はメインコートに整列）

型上級優勝選手型披露（型上級入賞選手は型披露の練習会を開会式前に実施するので場内アナウンスに注意して下さい。）

12 時 45 分　**組手試合開始予定**

18 時 30 分　　大会終了予定（閉会式なし）シニアマスターマスターズ M.V.P 発表

≪表彰≫　☆組手、型共に、ワンマッチは優勝のみ、３人～７人は準優勝まで、８人以上は３位まで（組手２人、型１人）が表彰されます。

★東日本選手権、シニアマスターズ、型上級優勝はトロフィー、表彰状の他にファイナリストワッペン授与。

☆東日本選手権一般男子優勝賞金 5 万円贈呈。女子は無差別になり優勝 7 万円、準優勝 3 万円贈呈。

M, V, P（シニアマスターズ優勝者から選択） 賞金 10 万円！【武魂杯特大カップ次大会まで贈呈】

各カテゴリー試合終了アリーナ特設表彰スペースにて随時表彰します。入賞選手は試合終了 20 分後位から場内アナウンスの表彰ご案内次第表彰スペースに集合して下さい。（写真撮影可）

【試合規定、注意事項】

☆☆大会会場は他団体、他者の利用があります、入口、通路、会場での態度にお気を付け下さい。武道空手の礼節重視を示すためにも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

☆大会当日計量は行いませんが（一般選手権、シニアマスターズ重量級以外）申込時体重から＋―５ｋｇの場合（対戦相手から指摘などあれば計量します）失格、減点になる場合があります。（一般選手権軽量級、シニアマスターズ軽量級の前日計量予約選手は I.K.O.N.極真会館横浜関内道場 18 時～20 時に計量できます。当日計量は開会式前までにメインコートにて計量を行ってください。）

☆道着の腕まくり、袖を肘より短く切る事は禁止です。

☆テーピングは原則禁止ですが、医師の診断書持参の上、大会医事に相談して下さい。（許可の判断は状況によりますが、許可の場合は大会医師のテーピングサインが必要となります。）

☆各試合コートに試合進行 No を表示致します、選手は各自の責任で自分の試合の５試合前には、出場コートで待機して下さい。試合時にいない場合は失格となりますので、特に幼年、低学年はセコンド、保護者も注意して下さい。

☆セコンドは 1 選手 2 人とします（ビデオ撮影可）応援の際は必ず座り、床やマットを叩く、怒鳴る罵声等礼節のない応援は禁止です、悪質な場合、セコンド退場、選手失格の場合もあります。（アリーナでの三脚スタンド使用の撮影は不可、スタンド席は可）

☆大会中の負傷、急病の応急処置は致しますが、それ以後の責任を主催者は負いません。必ず、スポーツ保険に加入して下さい。

☆大会会場付近には、有料駐車場はありますが、混雑が予測されますので、電車、バス等のご利用をお勧め致します。（最寄り駅、JR 京浜東北線関内駅、市営地下鉄関内駅、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅）

☆会場内はガム、飲酒、サングラス着用などは禁止です。開会式での私語も慎みましょう。

☆会場内で小さいお子様が遊びまわったり、騒いだりしない様にご注意下さい。

≪組手試合は I.K.O.N.国際空手道連盟極真会館ルールが基本≫

（JKJO,JBKO 類似ルール）

3 人制審判　主審 1 人、副審 2 人のため、有効決定旗数は 2 本以上となります。

5 人制審判　（一般選手権、シニアマスターズ予定）は、有効決定旗数は 3 本以上となります。

男女共通↓

すべてのチャレンジマッチ	本戦１分３０秒で決着（延長戦無し）
幼年～中学生、壮年のトライマッチ	本戦 1 分 30 秒、延長 1 分で決着
高校生、一般のトライマッチ	本戦２分、延長 2 分で決着
幼年～中学、壮年　東日本選手権	本戦 1 分 30 秒、延長 1 分 30 秒で決着
高校生、（一般選手権出場可↓）東日本選手権	本戦 2 分、延長 2 分で決着
一般東日本選手権　シニアマスターズ（武魂杯争奪戦）	本戦 3 分、延長 2 分で決着

【組手試合防具規定】

原則 I.K.O.N.極真会館、JKJO,JBKO 公認品、または左記同様品

赤コーナー用赤帯持参してください。（貸し出し少数です）

カテゴリー	防具着用規定（選手持参）
幼年、小学生、の全てのカテゴリー ※幼年～小学 3 年までは膝サポーター任意 （女子はチェストガード、下腹部ガード任意着用）	拳サポーター、脛サポーター、膝サポーター （白色ベースで、布製品で清潔な物） ヘッドガード（フェイス金属網、プラスチック網有る物）　マウスガード着用任意、帯留め任意
中学生、高校生、一般、壮年（東日本選手権、シニアマスターズ以外）の全てのカテゴリー （女子はチェストガード、下腹部ガード着用）	オープンフィンガーグローブ（拳サポーター可） 脛サポーター、膝サポーター、白色ベースで、布製品で清潔の物　ヘッドガード（網なし） 帯留め任意、マウスガード任意
一般女子東日本選手権 女子シニアマスターズ	素手、ヘッドガード無し、 脛、膝、チェストガード、下腹部ガード着用 マウスガード任意
一般男子東日本選手権	素手、素足 マウスガード任意
男子シニアマスターズ	素手、ヘッドガード無し、 脛、膝、ファールカップ着用、マウスガード任意
※全ての男子	ファールカップを空手着内部に着用。
※全ての女子	T シャツは白の無地を着用
※全てのカテゴリー	感染対策のマスク、ヘッドガードのシールド着用は全て任意とします。（感染状況により変更あり）

☆上記、規定の防具が着用されない場合は失格となります。☆空手着には氏名を明記、腕まくり禁止。

☆選手呼び出し係はいませんので、**各選手は自分の試合の5試合前には出場コート出場コーナー（ゼッケン番号の少ない方が白コーナー、多い方が赤コーナー）にて待機して下さい。**

選手呼び出しアナウンスコールがあっても不在の場合は失格となる事があります。

☆単なる予防のためのテーピングは禁止です。必要な選手は診断書、大会医事委員の承諾必要。

≪型試合≫

初級　予選型　太極その3　決勝型　平安その1　白帯～ 5 級まで出場可
中級　予選型　平安その 4　決勝型　撃砕大　白帯～黒帯(何段でも)出場可
上級　予選型　最破　決勝型　観空　白帯以外は出場可

☆型試合は審判の採点の合計数により順位を決定します。同点の場合は第１優先最高点、第２優先最低点の高い方とし、それでも同点は同点者を決勝進出とし、決勝戦の場合は審議とします。

参加人数（抽選により試合順番決定）	決勝戦進出人数（決勝は予選の低得点者から先行）
２人（ワンマッチ）～５人	２人
６人～８人	３人
９人～１２人	４人
１３人～19 人	５人
２０人以上	６人

【試合進行、順番について】(午前中型試合、試合直前の抽選により順番決定)

★一人ずつ順番に型競技を行い、3 人の審判による採点の合計点により順位を決定致します。(同点は最高点、最低点の順で優位決定)

☆採点は 5.5　6.0　6.5　ではなく、　6.0　6.1　6.2　6.3～6.9 と少数点が 0～９まで有ります。

★上記の表の通り、参加人数により、決勝進出人数は異なります。

【試合方式は下記の通りとなります】

例１、黙想から始まらない型　例えば「太極その 3」

《アナウンス》「ゼッケン 350 番横浜太朗！」選手入場。《主審》「正面に礼！」　右手を上げたのを合図とし。

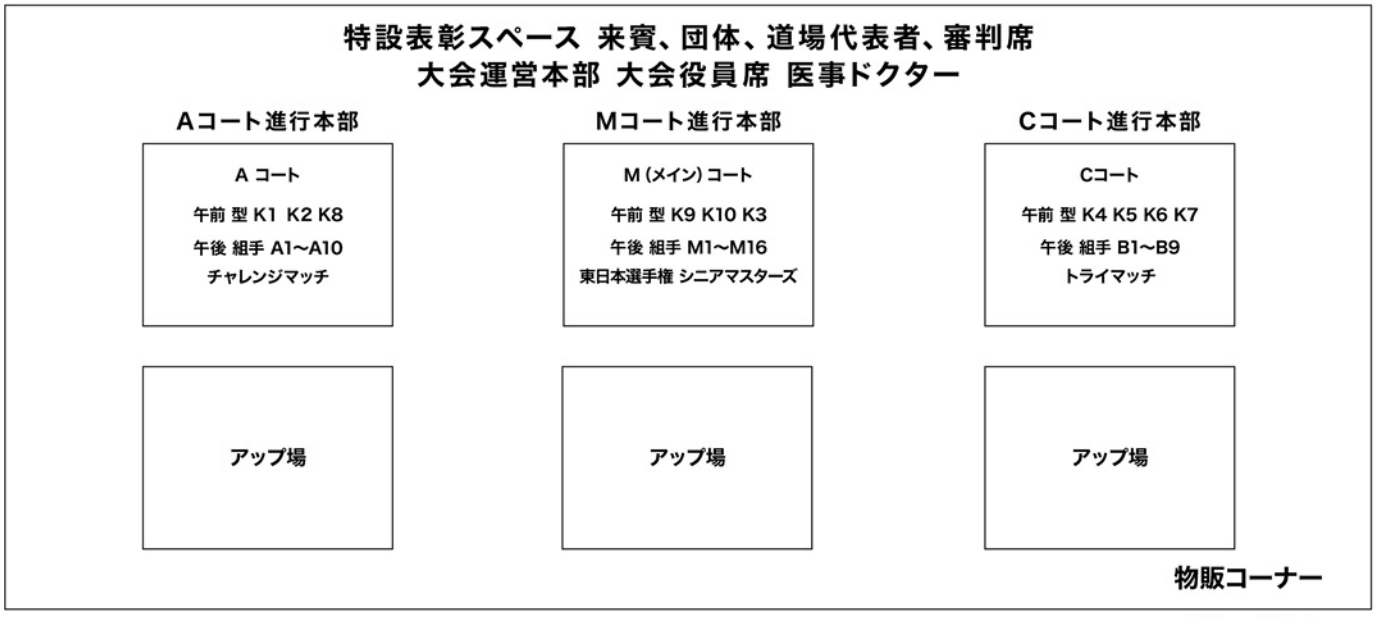
≪選手≫型の名を言う「太極その 3」　型を開始～なおれ、まで行い、型終了　《主審》判定取ります！判定！」

《アナウンス》　「6.3．7.2　6.8」　「ただ今の得点は　20.3 です」《主審》　「正面に礼！」　選手退場。

例２、黙想から始まる型　例えば「撃砕大の型」

《アナウンス》「ゼッケン 35５番東京太朗！」選手入場。《主審》「正面に礼！　」右手を上げたのを合図とし

≪選手≫黙想！　型の名を言う「撃砕大」　型を開始～なおれ、まで行い、型終了　以下、上記と同様です。

極真空手の型競技として勝敗の判定基準は「力強さ、気迫」が第一優先、「正確性」を第二優先として判定致します。(型を正確に行った選手が、正確性に欠けるが力強さ、気迫に勝る選手に負ける可能性もあります)

大会会場 (アリーナ) 案内図